

授業科目名・形態	在宅ケア実習	実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	石川セツ子・黒澤繭子・芳賀邦子		実務経験の有無	有	開講期	3年前期・後期

【授業の主題】

- 1) 地域社会において、在宅で療養・生活している人々とその家族を対象に、対象の多様なニーズに対応した QOL を重視した療養生活・日常生活の支援活動の実際を学び理解できる。
- 2) 在宅ケアにおける保健・医療・福祉サービスの連携や地域ケアシステムの実際を学び理解できる。
- 3) 在宅看護活動の実際や継続看護の必要性について知る。
- 4) 個々の対象の特性に応じた支援に必要なサービスの活用や、ケアマネジメントの実際について理解できる。

【到達目標】

- 1) 在宅で療養・生活している人々とその家族を支援する施設の組織と役割を理解する。
- 2) 在宅で療養・生活している人々とその家族の生活・健康の諸問題、療養・生活している人々および家族に対する支援活動の実際を理解する。
- 3) 在宅で療養・生活している人々とその家族への社会資源の情報提供と活用の実際を理解する。
- 4) 在宅ケアを支える関連職種および関連機関の連携を理解する。
- 5) 在宅で療養・生活している人々とその家族への訪問看護の実際、継続看護の必要性を理解する。
- 6) 要介護予防に対する施策を理解し、その重要性を学ぶ。
- 7) ケアマネジメントの実際、利用者を支えるシステムについて学ぶ。
- 8) 療養生活支援の実際を学ぶ。

【授業計画・内容】

- 1) 施設の組織と役割・事業概要
 - 2) 在宅で療養・生活している人々と、その家族の生活状態・健康状態及び家族支援
 - 3) 地域の社会資源・活用状況
 - 4) 関連職種・関連機関との連携および活動内容
 - 5) 在宅療養している人々と、その家族への訪問看護による援助の実際
 - 6) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の事業目的、方針、内容の実際
 - 7) ケアマネジャーの役割と活動内容
 - 8) 在宅で療養・生活している人々とその家族に対するホームヘルプサービスの実際
- ※詳細は実習オリエンテーションにて提示する。

【授業実施方法】：臨地実習

【授業準備】：訪問看護、在宅ケアに関連するサービス、関係法規などの①事前学習ノートと②初日分の実習目標を記載した記録を実習開始前の指定の日時までに教員へ提出し確認してもらう。

【主な関連する科目】：在宅ケア論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】：在宅ケア論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書・2年次に授業で使用した関連資料など。

【参考文献】：必要時配布します。

【成績評価方法】：①実習指導者や教員による観察（実習中の行動や学習態度、実習指導者による記録のコメント、カンファレンス等での発言・発表）50%、②学生自身及び教員による在宅ケア実習評価表（日々の在宅ケア実習記録含）50%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

訪問看護業務運営・管理をはじめ、在宅ケアマネジメント業務、地域における看護大学等の臨地実習を引き受け20年間活動してきた。社会を取り巻く在宅ケアの必要性が理解できるように、これまでの実務経験を活かし、事例等を交えながら学習を進めていきたい。

【学生へのメッセージ】

施設実習となりますので、個々の基本的なマナーをしっかりと守ること。また、事前学習をしっかりと学び、疑問なことや分からないこと等は積極的に質問するなど、主体的に実習に臨みやりがいと達成感のある実習を体験してほしい。